

Higashihiroshima City Fire Department

東広島市消防局

消防庁舎のご案内

東広島市消防局
東広島消防署

HIGASHIHIROSHIMA CITY
FIRE DEPARTMENT

HIGASHIHIROSHIMA
FIRE STATION



ごあいさつ

東広島市長 藏 田 義 雄

東広島市の消防活動拠点施設の中核としての役割を担う、消防庁舎が完成いたしました。

市民の皆様をはじめ、格別のご支援を賜りました関係各位に対し心から厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり、今日の消防を取り巻く環境は、地震、豪雨等の自然災害の大規模化、少子高齢社会の到来、都市形態の多様化、情報化の進展によって刻々と変化を続けております。

それに伴い、災害対応力の向上や危機管理への対応等も重要な課題となっております。

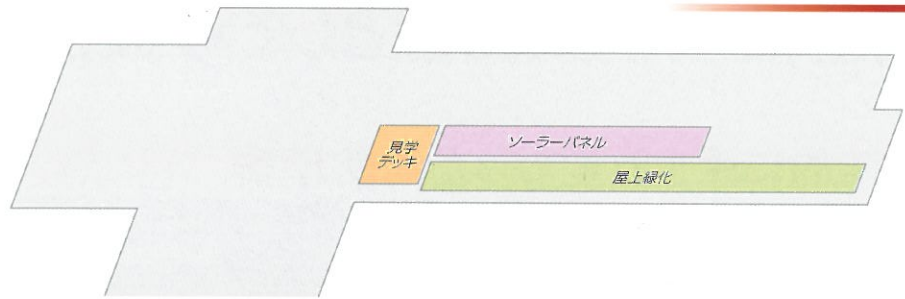
こうした中、完成いたしました消防庁舎は、地域のコミュニティや景観を大切にしながら、各種の近代的設備を備えた庁舎であり、併設の防災センターは、市民の皆さんの防災意識や自主防災力を高めていただく学習の場として、さらに、消防隊員が火災をはじめ各種災害に対応できる高度な技術を習得するための訓練施設を備え、消防活動が迅速かつ的確に行われるよう万全を期しました。

本庁舎は、消防防災活動の拠点として大きな威力を発揮するものでございます。

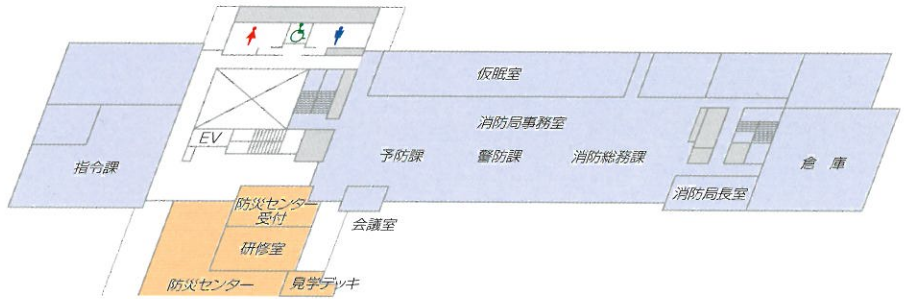
今後とも、安全・安心のまちづくりのための防災対策、消防力の充実強化に努めてまいりますので、一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。



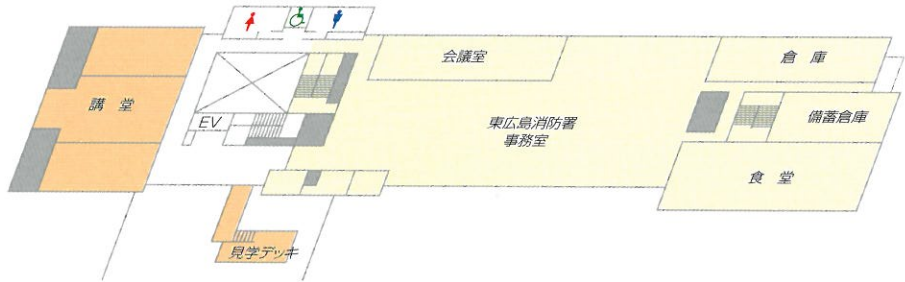
R 屋上緑化
ソーラーパネル
見学デッキ



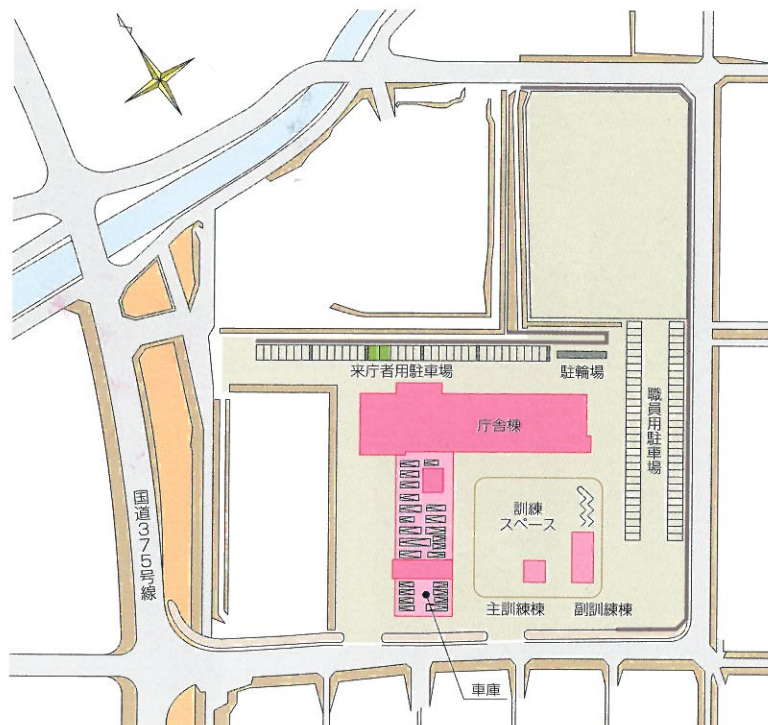
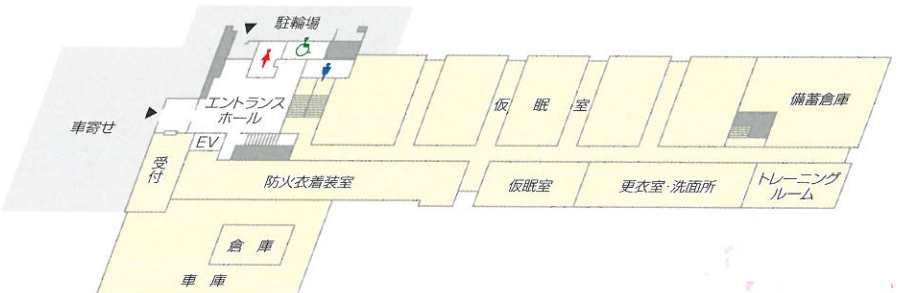
3 防災センター
見学デッキ
研修室
消防局長室
消防総務課
警防課
指令課
予防課



2 東広島消防署
講堂
見学デッキ



1 受付
車庫



消防防災活動拠点としての機能向上を図り、市民と

機能的に生まれ変わった消防庁舎

- 防災センター：子供から大人までが防災学習できる体験型学習施設。3階に配置。
- 車庫：2方向に出庫可能で、柱など障害物を極力無くしたフレキシブルな車庫。
- 指令課：119番通報を受ける消防局の中枢となる部屋。3階に配置。
- 消防局事務室：指令課との連携が可能な3階に配置した事務室空間。
- 消防署事務室：2階に配置し、事務室直通的の緊急階段で、防火衣装着室から車庫に出動可能。
- 講堂：職員の研修や、防火管理者講習会などに使用。可動間仕切りにより1室～3室利用可能。
- 備蓄倉庫：非常時の食料・物資などを保管する。1階・2階に配置。
- 耐震性貯水槽：地下の躯体を利用し、100tの耐震性貯水槽を設置。
- 屋上緑化：庁舎棟屋上に約100㎡の屋上緑化を設置。
- 太陽光発電：庁舎棟屋上に10kWソーラーパネルを設置。
- 雨水利用：防災センター上部に降った雨水を貯留（約90t）して、トイレの便器洗浄水などに使用。また、断水時の飲料水確保（ポータブル濾過器使用）。
- 床免震：地震発生時に、重要な機器等の転倒・破損を未然に防ぐためのフロアシステムで、指令課と通信機械室に導入。地震の揺れを1/10に軽減。



屋上 ソーラーパネル



屋上緑化



見学デッキ



3F 指令課



消防局事務室



局長室



2F 消防署事務室



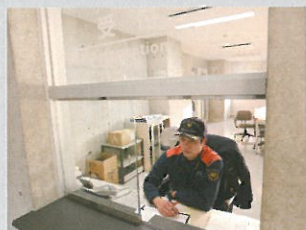
見学デッキ



講堂



1F 受付



エントランス



トレーニングルーム



仮眠室



かけはし

防災の梯としての役割を担う、市民に親しまれる庁舎

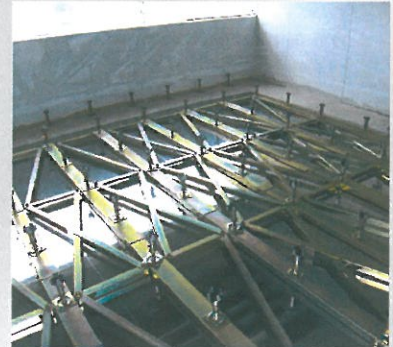
倉庫



展示物



床免震



様々な訓練が可能な訓練棟

訓練スペースには主訓練棟(5階)、副訓練棟(2階)があり、全国消防救助技術大会の種目が全て実施できます。また、防災センター横を訓練スペースとして使用することで、見学デッキからは、より身近に訓練を見学することができます。

主訓練棟



副訓練棟



見学デッキから見た訓練棟



敷地面積

15,993.63㎡

	建築面積	延床面積	構造種別	規模
庁舎棟	2,487.83㎡	5,902.76㎡	鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造	3階
主訓練棟	60.30㎡	239.75㎡	鉄筋コンクリート造	5階
副訓練棟	135.79㎡	221.90㎡	鉄筋コンクリート造	2階
駐輪場	33.88㎡	33.88㎡	鉄骨造	1階
合計	2,717.80㎡	6,398.29㎡		

講習で学ぶゾーン

私たちは、いつ、どこで、突然のけがや病気におそわれるかわかりません。そんなときに、家庭や職場でできる手当のことを「応急手当」といいます。病院に行くまでに応急手当をすることで、けがや病気の悪化を防ぐことができます。



自主防災ゾーン

自然災害の発生を防ぐことはできません。「自分の身は自分で守る、自分たちのまちは自分たちで守る。」という自助・共助の精神で、あなた自身が普段から地域で起こりうる災害を想定し、地域の方と一体になって防災について考え、いざというときにはお互いに助け合う必要があります。



風水害対策ゾーン

台風や集中豪雨、雷雨や突風など、私たちが襲うさまざまな気象に対して、あなたの備えは万全でしょうか？ 台風が近づいたら外出を控えるなど被害を未然に防ぎ、河川の氾濫や土砂崩れ、崖崩れなどによる被害を予測し、危険な場所に近づかないようにしましょう。



防災の基礎知識が学べる防災センター

防災の基礎知識から、火災・地震など各種災害時の対策をグラフィックパネルや体験できるシステムなどで学習できます。

消防団の紹介

消防団は会社員の方、自営業の方、主婦の方など、性別・職業を問わず、「わがまちをわが手で守りたい」という想いを持った市民が活躍している組織です(非常勤特別職の公務員)。いざ災害が起きたときは、消防団長の命令により迅速に現場にかけつけます。消防団といえば男性のものと思われがちですが、近年は予防活動や応急手当の普及など、幅広い分野で活躍する女性団員も増えています。



地震対策ゾーン

地震はいつどこで起こるかわかりません。そのときの瞬間の判断が生死を分けることもあります。「あわてず、落ち着いて」行動することが何より大切です。



火災対策ゾーン

火災は一瞬のうちに、財産や住まい、ときには大切な家族の命までうばってしまいます。日ごろ、どんなに火の用心をしても、絶対に火災が起きないという保障はありません。万が一に備えて、住宅用火災警報器や消火器を必ず設置しましょう。



119番通報体験

初期消火体験

HIGASHI HIROSHIMA CITY FIRE DEPARTMENT



■東広島市消防局

〒739-0021 東広島市西条町助実1173番地1
 消防総務課 TEL 082-422-6062 FAX 082-423-0363
 警防課 TEL 082-422-5648 FAX 082-422-7248
 指令課 TEL 082-422-0119 FAX 082-423-8243
 予防課 TEL 082-422-6341 FAX 082-422-5597

■東広島消防署

本署 〒739-0021 東広島市西条町助実1173番地1
 TEL 082-422-6567 FAX 082-422-8119
 西分署 〒739-0147 東広島市八本松西五丁目1番6号
 TEL・FAX 082-428-0119
 南分署 〒739-2611 東広島市黒瀬町大多田1496番地5
 TEL・FAX 0823-82-0119
 北分署 〒739-2311 東広島市豊栄町乃美1118番地3
 TEL・FAX 082-432-2119
 東分署 〒739-2208 東広島市河内町入野2076番地1
 TEL・FAX 082-437-0119
 安芸津分署 〒739-2402 東広島市安芸津町三津5542番地1
 TEL 0846-45-0119 FAX 0846-45-3993

■竹原消防署

本署 〒725-0026 竹原市中央四丁目13番1号
 TEL 0846-23-0119 FAX 0846-22-0957
 忠海分署 〒729-2316 竹原市忠海中町二丁目25番1号
 TEL・FAX 0846-26-0420

■大崎上島消防署

〒725-0231 豊田郡大崎上島町東野4154番地1
 TEL 0846-65-2056 FAX 0846-65-3519